

2013年9月11日

放射能測定（シンチレーション式）の信頼性向上に役立つ相互比較試験の実施についてのお知らせ

（独）産業技術総合研究所計量標準総合センターと（独）農業・食品産業技術総合研究機構食品総合研究所はこれまで共同で、放射性セシウム濃度を認証した認証標準物質の開発や Ge 半導体検出器を対象として U8 容器、2 L マリネリ容器を用いた技能試験を実施してきました。認証標準物質については以下の URL を参照ください。

NMIJ CRM 7541-a 玄米（放射性セシウム分析用）認証標準物質の開発について：

http://www.aist.go.jp/aist_j/aistinfo/aist_today/vol13_07/vol13_07_p21.pdf

NMIJ CRM 7541-a 玄米（放射性セシウム分析用）認証書の見本：

https://www.nmij.jp/service/C/crm/61/7541a_J.pdf

今回は対象を拡大し、シンチレーション式放射能測定器を使用されている測定者の皆様に試料測定の信頼性（確からしさ）を確認する機会を提供することを目的とした、玄米放射能測定相互比較試験を計画しています。相互比較試験は濃度未知の試料を測定する技能試験とは異なり、認証標準物質と同等の玄米試料を用い、参加者に放射能濃度をお知らせした上で試料をお渡しします。この試料を測定し、得られた測定値とお知らせした放射能濃度（参照値）を比較することで、測定の信頼性を測定者自らでも容易に確認できます。

現在、相互比較試験を有効に実施するため、複数の測定器メーカーとの協議を進めています。2013年10月初旬に実施方法や対象機種等を HP 上でお知らせします。相互比較試験は2013年12月ごろに開始する予定です。関心を持たれた方は下記までメールで御連絡下さい。実施方法確定後、参加方法・測定手順等の本相互比較試験の詳細を記載したプロトコルをお送りさせていただきます。

問合せ先：hikaku25-ml@aist.go.jp

本件担当：

産業技術総合研究所計量標準総合センター 柚木、海野、三浦

農業・食品産業技術総合研究機構食品総合研究所 濱松、八戸、等々力